

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、

未来を担う 白根こまっ子 ～

令和8年2月12日 No17 文責 保坂 泉(校長)

“あれよあれよという間に3学期も残り30日をきりました！”

立春も過ぎ、暦の上では春です。南アルプス市の春の風物詩「十日市」も先週末行われ、一步一步、春に近づいています。今年は積もるほどの雪が降ることもなく、大人にとっては雪かきや車の運転などを心配することがなくホッとしているところですが、子供たちにとっては雪遊びを



することもできず、物足りなさを感じているのではないかと思っています。近年、春夏秋冬の季節感が変化してきたように思います。冬はいつ来るんだろうと思っていたら急に冷え込んでみたり、春らしいと感じていたら急に暑さが増してきたり、春めいてきたと思ったら急に冬のような寒さに逆戻りしてみたり、秋も短くなったりして、体が対応しきれなくなってしまう。今も冷え込みが厳しく乾燥した日々が続いているところですが、近隣の学校では、インフルエンザに罹患してしまっている児童が多く、学級閉鎖や学年閉鎖、休校の措置をとる学校も見られています。飯野

小学校の児童は、ご家庭での健康管理へのご指導よろしく、今はインフルエンザ等の感染症も落ち着いているところです。今後も、学校では予防を第一に考え児童に指導してまいります。ご家庭におかれましても、これまで通りの予防策を励行していただき、児童への十分な健康管理をお願いします。

3学期が始まって1か月が過ぎようとしています。始業式で「3学期は短い学期！」と児童に向けて話しましたが、数えてみると児童が登校する日数は30日をきってしまっています。6年生においては25日をきってしまっています。令和7年度も残りわずかとなり、児童一人一人が一日一日を大切に充実した日々を過ごしてほしいと願っています。進級進学に向けて十分な準備とよい締めくくりができるようにして、4月から新たな気持ちで学校生活が送れるようにしておきたいところです。

授業参観・学年部会へのご出席 ありがとうございました！



6日(金)には、3・4・5年生の授業参観が行われました。ご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。

各学年学級とも、子供たちが意欲的に学びに向かう姿が見られたことと思います。授業も学習の目標によって様々な形態をとるようになりました。昔ながらの教師主導の一斉学習の場面もありますし、個々に学習を進める場面、数人の小集団



で学習する場面、教科書を主体に学習する場面、資料をもとにして学習する場面、タブレットを使って学習する場面等々、私が子供の頃に授業を受けていた頃とは大きく様変わりしています。しかし、どの場面でも共通するのは、学びの主体が“児童”であることです。自らが課題意識をもち、それをどのように解決していくかを大切にして学習を進めています。今後も、未来

を生き抜いていける力を身に付けられるよう、職員一同頑張っております。

《多くの方に関わっていただいています！》



10日（火）には、1年生は、おじいちゃん、おばあちゃん、お家の方に協力していただいて「昔のあそび大会」が行われました。“あやとり”“竹馬”“お手玉”“おはじき”“めんこ”“けん玉”“羽子板”

“竹とんぼ”“ゴム跳び”“コマ回し”等、大人にとっては懐かしい遊びに、1年生にとっては新鮮な遊びに触れ合うことができました。経験したことのある遊びもある1年生は、得意げに見せてくれたり、

初めて手に取る遊びでは、なかなか上手にできず悪戦苦闘する1年生もいたりしましたが、多くのあそびに時間を忘れて楽しく取り組んでいました。教えてくれている方が上手にできている様子を見て「すげえ〜！」と大きな歓声をあげているのも印象的です。また、教えてくれている方々は、可愛らしい1年生と一緒に遊んだり教えたりするのが楽しい様子で、終始、にこやかな表情でいらっしやいました。1年生にとっても、いらっしやった方々にとっても、充実したひと時を過ごしていただきました。ご協力ありがとうございました。



同日、3年生は、これまでの社会の学習をより確実にするために八田地区にある“ふるさと文化伝承館”に行き、昔の生活で使われていた道具についての学習をしました。稲作で使われていた道具、日常生活で使われていた道具、仕事として使われていた道具等を見るだけでなく、実際に触ったり使ったりしながら、今とは違った昔の生活の苦労の様子を思い浮かべることができていました。“火のし”（炭を燃やして使うアイロン）での体験では、おっかなびっくりして使いながら、「おお〜、しわがきれいになった〜！」と感激している様子でした。実際に五感を通して学ぶことは、

確かな学びに繋がり、時間が経過しても覚えていることができます。小さいころの経験は、年齢を重ねてもいろいろなところで役立ちます。子供たちには、できるだけ多くの体験をさせてあげたいものです。今回の3年生の学習では、伝承館にお勤めの方々ばかりではなく、伝承館でボランティアとして協力していただいている方にもお手伝いしていただきました。心より感謝申し上げます。



～ 6年生 に期待しています。 ～

先日、6年生の先生から「校長先生、6年生の歌声を聴いてください。」と頼まれました。6年生は、もう“卒業モード”に切り替わっています。担任の先生方は、4月の担任発表の時から3月19日を見据えて計画的に取り組んできました。進学しても困らないように、学習面だけでなく多くの場面で様々な困難を乗り越えられる力を身に付けられるよう関わってまいりました。今回、6年生の歌う様子を見聞きして、その成果が花開き始めていることを実感しました。「自分たちがどこに向かっているのか。」「何をすべきなのか。」「どうありたいのか。」を掴んで努力を重ねることが、その様子から伝わってきました。こんな様子を見るのができて、校長として嬉しい限りです。この一年、6年生の成長していく様子を見ていました。担任も6年生も苦しいこともあったと思います。ですが、その苦しい時期を乗り越えてきたからこそ、今があるのだと思います。今年の卒業式も、期待を裏切らない素晴らしい卒業式になることを信じています。42人の力を一つにして最高の卒業式にしてください。そして、残り少ない小学校生活を大人になっても忘れることのできない思い出深いものにできるようにしてください。6年生のみなさんの自信を持った素晴らしい姿は、白根飯野小学校の誇りです！

